

被表彰実践校・図書館の紹介

津市立大里小学校

各学期に1回の図書館まつりの実施、本に関わる専門家を招いての講演会の実施等学校全体で読書活動の推進に取り組んでいます。読んだ本の感想や内容を要約して書く取組等を行うとともに、月1回の公共図書館団体貸し出しを利用して資料を収集し、学校図書館とともに図書館を学習に活用しています。

また、学習内容と関連する特設コーナーを学校図書館内に設置することで、学校図書館の利用促進を図っています。また、図書館ボランティアによる本の読み聞かせやおはなし会、おすすめの本の紹介等、魅力的な図書館環境を整えるとともに、家族で本を読む週間を設定し、家庭での読書活動の推進も行っています。

四日市市立富洲原中学校

司書教諭、教職員、専門家や図書委員会による読み聞かせを行っています。また、小中連携による朝の読書も実施しています。図書室が教室から離れている学級の生徒への配慮として、職員室前、廊下に本を配架する取組を行っています。学校図書館に配架する本を第3学年の生徒一人ひとりが選定する取組を行っています。これらの取組により、「あなたは、読書が好きですか。」の項目で「好き」と答える生徒の値が、全国平均を上回っている状況が続いています。

県立久居農林高等学校

14年間にわたる組織的な朝の読書活動や図書委員による主体的な委員会活動、授業での学校図書館の積極的な活用等、様々な取組をバランスよく行うことで、生徒の読書習慣の形成や思考力等の育成を図っています。そのため、当該校では、生徒一人あたりの平均貸出冊数のほか、1冊以上借りた生徒の割合や図書館での授業数、レファレンスの回数等、複数の項目において高い数値を示しています。

伊勢市立小俣図書館

季節折々のテーマを設定するとともに、折り紙で食べ物を作るなどの活動を取り入れるお話会を行い、参加者がより主体的に、楽しめるよう工夫しています。また小俣図書館実施のボランティア養成講座を受講した方を講師に招き、ゴムとびにチャレンジするイベントや子どもが地元小俣町の歴史等について学ぶ「小俣っ子教室」を開催し、そこで関連書籍を紹介することで、新たに来館するきっかけづくりを行っています。さらに、保育所・幼稚園・小中学校、平

成26年度からはショッピングセンターにおいて出張おはなし会やブックトーク（テーマに沿った本の紹介）を積極的に実施しています。